



市報

やまぐち

2003 2/1 NO.1333



CONTENTS
主な内容

平成13年度決算報告

山口市史「史料編」編さん事業

山口情報芸術センター・11月1日オープン
愛称は「ビッグウェーブやまぐち」

FEBRUARY

Communication Paper Yamaguchi





今年度中の法定合併協議会設置に向け 県央部合併推進協議会を設置

法定合併協議会準備組織として、1月6日に「県央部合併推進協議会」が設置され、第1回目の会議が山口市役所で開催されました。また、同日、市防災センター3階に事務局が開設されました。(表紙写真)

山口市、防府市、徳地町、秋穂町、小郡町、阿知須町の2市4町で県央部合併推進協議会を構成し、それぞれの首長、議長の12名が委員になっています。合併推進協議会は、昨年8月に設置された「県央部合併調査研究会」の調査研究をより具現化し、法定合併協議会設置に向けた準備を行っていきます。

第1回会議の冒頭で、同協議会会長の合志市長が「全国的に市町村合併の気運が高まる中で、県央部も今年が勝負の年になる。年度内の法定合併協議会設置に向け協議を進めていきたい」と挨拶しました。

第1回目の会議では、主に、合併推進協議会の事業計画、専門部会要領などについて協議およびその確認がなされました。

防府市で行われた2回目の会議(1月27日)では、合併の枠組み、法定合併協議会設置の時期に関して、調整が行われました。会議内容の詳細は、市ホームページに掲載します。

今後、同協議会では、協議会の開催(原則公開)を含め、担当職員からなる専門部会等を設置し水道、社会保障など約640項目におよぶ行政サービスの調査・研究等を行っていきます。

◇**問い合わせ** 県央部合併推進協議会事務局(〒753-8650 亀山町2番1号 ☎934-2674 ㊟934-2673 Eメール kikaku@city.yamaguchi.yamaguchi.jp)

法定合併協議会とは?

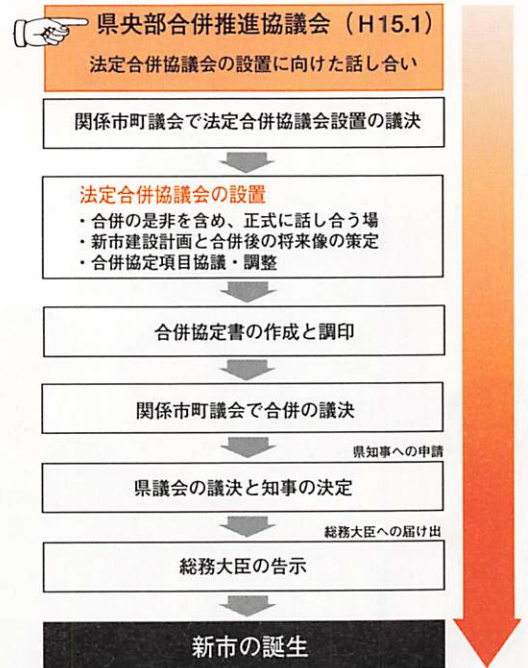
合併特例法の規定により、合併を行おうとする市町村は、法定合併協議会を置くものとされています。

その設置には、合併に参加する各市町が、それぞれの議会で法定合併協議会設置の議案を提出し、議決を得る必要があります。

法定合併協議会は、関係する市

町の長・職員、議会の議員、学識経験者(自治組織、経済団体、女性組織等の代表など)から選任され、合併のための諸条件(各種サービス、使用料・手数料や税の取り扱い、新市の名称や市役所の位置など)や合併後の将来ビジョンなど、合併の是非を含め協議・検討する場です。

■合併までの流れ



市町村合併Q&A

リレーミーティングや市長への合併提言ファクスでいただいた市民のみなさんの中核都市づくり・市町村合併に関する疑問、提言などを紹介していきます。

Q 合併により、山口市の個性が失われることのないまちづくりを進めて欲しい。

A 新市においても、合併前の地域においてそれぞれ育まれてきた歴史、文化、伝統などを尊重したまちづくりを行うことで、各地域の個性を活かしていくことはできると考えます。大内文化のまちづくりについても、市のまちづくりの柱であり、合併後も新市の中で継承されるものと考えています。

Q 国からの押し付けで合併することには反対である。

A 今の少子高齢化をはじめとする時代の流れ、財政状況等の見通しを考えると、国の政策等をふまえ、地方が主体的かつ独自のまちづくりを行っていく必要があります。県央部において、将来にわたって住んで良かったという素晴らしいまちであり続けるために、合併は必要なことであると考えています。

●ご意見、ご提言はこちらまで

Eメール kikaku@city.yamaguchi.yamaguchi.jp
市長への合併提言ファクス ㊟0120-96-0024

大内文化まちづくり推進計画を策定

大内氏の時代から今に500年 そして未来に500年

問い合わせ
企画調整課 ☎934-2746

市では、基本理念を『大内氏の時代から今に500年、そして未来に500年』とする「大内文化まちづくり推進計画」を策定しました。これは、第五次山口市総合計画やその他の関係計画を『大内文化を生かしたまちづくり』の視点から捉え直し、本市の個性である大内文化を生かしたまちづくりを計画的に推進するものです。

これから500年のため

大内文化まちづくり推進計画の基本理念は『大内氏の時代から今に500年、そして未来に500年』です。大内氏の最盛期から500年、過去から引き継いだ本市固有の歴史、文化等を『大内文化』という象徴的な言葉で表現します。

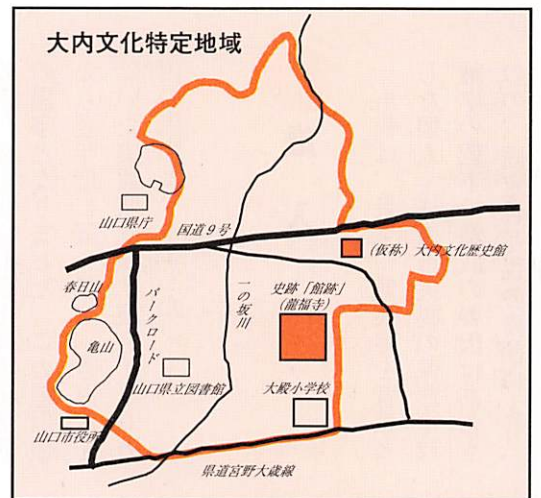
本市のまちの性格を特徴づける要素として「大内文化」を掘り起こし、大切に次世代に伝えることで、これから先の500年を見す

えたまちづくりに生かします。

大内文化の香るまちづくり

この計画の目標は、「ひとづくりと誇りの持てるまちづくり」と「活力あるまちの再生」としていきます。

まず、「ひとづくり」と誇りの持てるまちづくりは、市民主体のまちづくりを進めるため、まちづくり意識の醸成や人材の発掘と育成を進め、ふるさとへの愛着心や誇りを醸成していきます。また、本市固有の歴史、文化の発掘と継



承をしていくために、歴史に関する研究組織の設立や歴史的遺産の保存、山口市の史資料の収集と整理、歴史的遺産を守り育てる意識の啓発を進めていきます。

次に、「活力のあるまちの再生」は、大内文化特定地域の活性化を図ろうとするものです。大内氏の時代から育まれた歴史資源が多く残り、経済や文化等において波及効果が期待できるこの地域で、点在する歴史的遺産を有機的に結びつけ、大内文化の香りが伝わるまちづくりを進めていきます。そのため、歴史資源の保存活用や歴史を学ぶ拠点施設の整備、伝統産業の継承と集積、歴史が香る街並み景観づくり、交流を促す街の動線づくりを進めます。

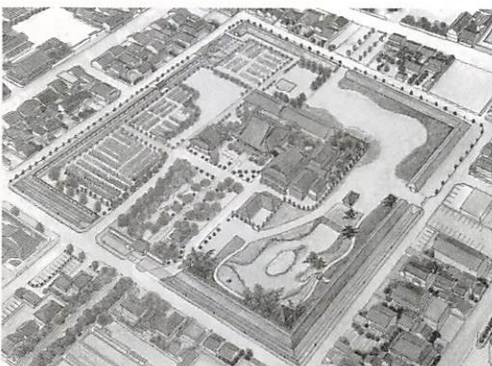
歴史を語り継ぐ街に

この計画の重点事業は、史跡「館跡」を中心とした史跡公園の整備と「(仮称)大内文化歴史館」の整備を行い、歴史を語り継ぐ街の拠点づくりを進めることです。

史跡「館跡」は「大内文化特定地域」の中心にあり、大内氏の館が構えられ、西国一繁栄したまちの核となった所です。この史跡および隣接する史跡「築山跡」の保存と整備を進めていきます。

「(仮称)大内文化歴史館」は、大内文化と日本史が学べる拠点施設として、野田神社西隣の県野田公舎跡地に建設を予定しています。また、同敷地に、菜香亭を移築し、その歴史的意義を継承する場として活用していきます。

大内氏の居館跡である「館跡」



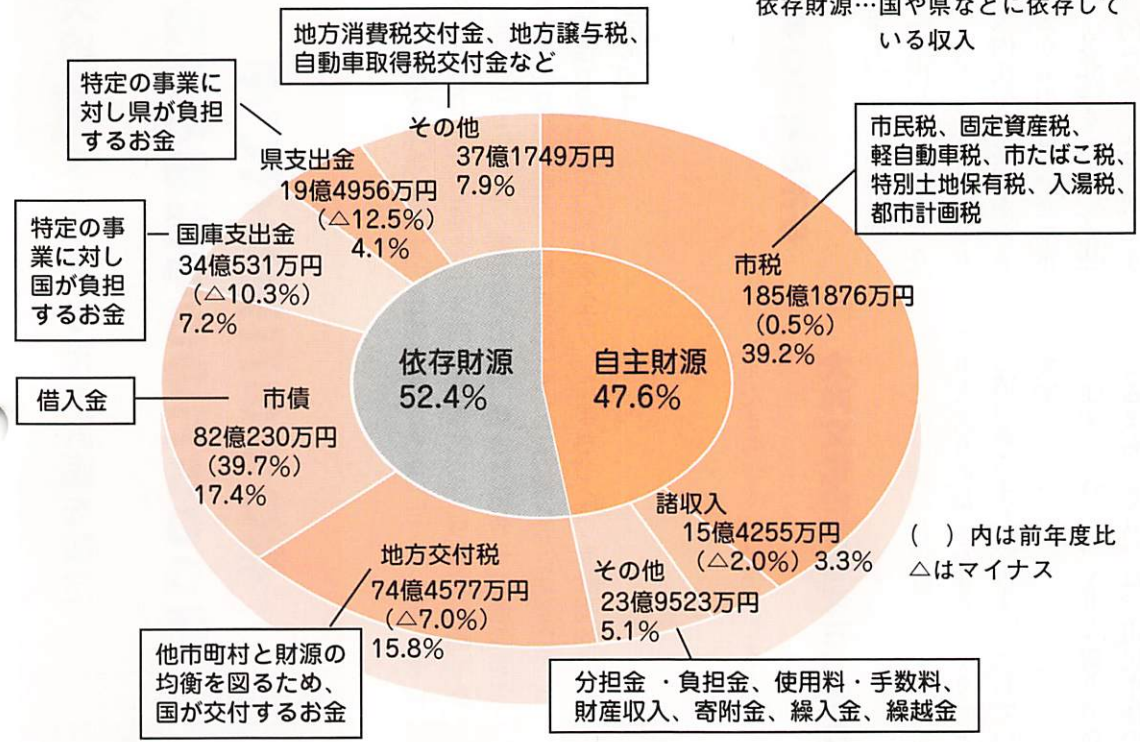
復元イメージ図

一般会計

一般会計は、市税などを主な財源として、福祉、医療、教育や道路・公園の建設など、まちづくりの中心となる会計です。

歳入総額 471億7697万円 (前年度比1.4%増)

自主財源…市が自ら調達する収入
依存財源…国や県などに依存している収入



平成13年度

決算報告

平成13年度は、目指す都市像を「自然と都市が共存し、文化に彩られた21世紀の中核都市」とする第五次山口市総合計画の2年目にあたり、その実現に向けた各種の施策を展開しました。今回は、平成13年度の決算が、去る12月議会において認定されましたので、決算状況を報告します。

当初予算464億9000万円
でスタートした平成13年度予算は、決算では歳入471億7697万円、歳出460億2501万円となり、差し引き11億5196万円の黒字となりました。この差引額から翌年度に繰り越すべき財源を除いた実質収支は7億9170万円の黒字となりました。

歳入

市税は、景気の低迷等を背景とした個人・法人市民税の減額や収納率の低下で減収の要因はあるものの、固定資産税の増額により、

【表1】市税の内訳 △はマイナス

区分	平成13年度決算額	前年度比
個人市民税	58億2707万円	△2.0%
法人市民税	17億4453万円	△10.8%
固定資産税	84億302万円	4.5%
軽自動車税	1億9363万円	4.7%
市たばこ税	7億4908万円	△1.7%
特別土地保有税	1382万円	△31.5%
入湯税	7947万円	6.0%
都市計画税	15億814万円	4.2%
合計	185億1876万円	0.5%

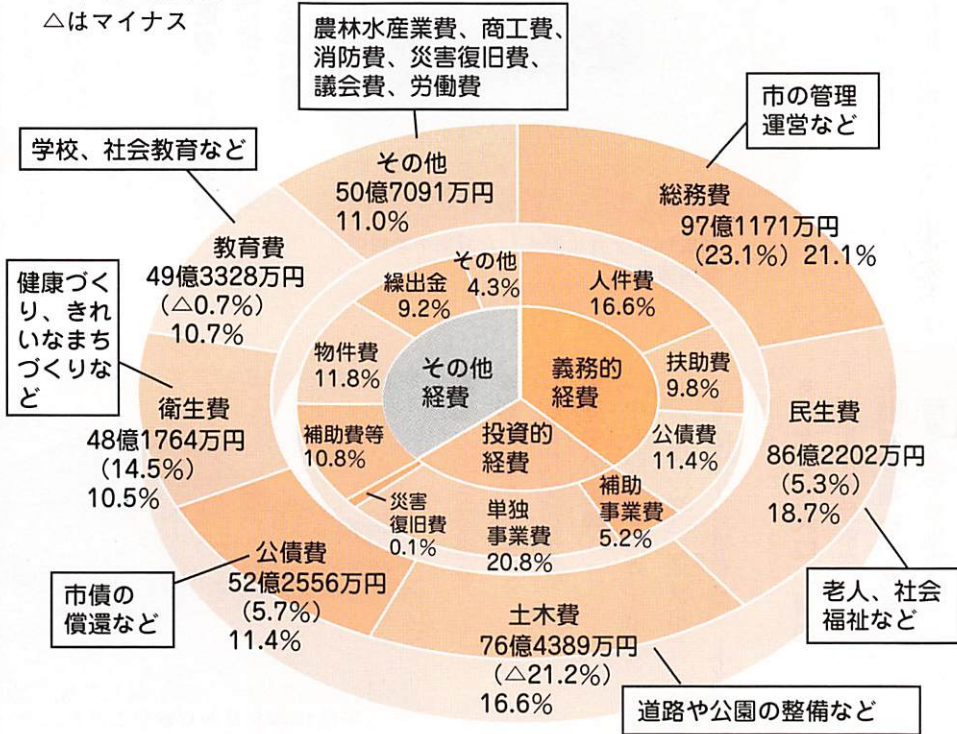
全体的には微増となりました。国庫支出金は、中園アパート建設事業費の減額などにより、大幅

◆歳出項目の説明◆

- 義務的経費 歳入が減っても削減することが難しいお金
- 投資的経費 道路・公園・学校などの建設や、災害の復旧などを行うためのお金
- 人件費 市職員の給与や退職金
- 扶助費 生活保護法、児童福祉法、老人福祉法などに基づいて対象者を支援するためのお金
- 公債費 借入金の元金・利子など市債を償還するためのお金
- 補助事業費 市が国の補助を受けて道路・学校などの整備を行うためのお金
- 単独事業費 市が単独で道路・学校などの整備を行うためのお金
- 補助費等 各種団体への負担金、補助金など
- 物件費 委託料、光熱水費、事務用品費など
- 繰出金 一般会計が特別会計の事務費などに対し負担するお金

歳出総額 460億2501万円 (前年度比1.2%増)

() 内は前年度比
△はマイナス



【表2】一般会計決算規模の推移 (過去3年間)

区分	13年度	12年度	11年度	
歳入	471億7697万円	465億3622万円	467億2314万円	
歳出	460億2501万円	454億8922万円	451億3479万円	
差引	11億5196万円	10億4700万円	15億8835万円	
翌年度に繰り越すべき財源	3億6026万円	3億1713万円	6億3192万円	
実質収支	7億9170万円	7億2987万円	9億5643万円	
対前年度増減額 () 内は伸び率	歳入	6億4075万円 (1.4%)	△1億8692万円 (△0.4%)	38億9911万円 (9.1%)
	歳出	5億3579万円 (1.2%)	3億5443万円 (0.8%)	39億6787万円 (9.6%)

中園文化施設建設事業費、さら
ら博覧係事業費、市立図書館の建

歳出

な減収となりました。
歳入全体では、前年度決算に比
べ6億4075万円、1.4%の増額
となりました。

【表3】特別会計歳入歳出決算

区分	歳入	歳出
国民健康保険	87億3109万円	85億3681万円
老人保健	131億516万円	131億7109万円
介護保険	62億9493万円	62億1312万円
同和对策資金貸付	3054万円	3054万円
下水道	60億6696万円	59億6988万円
土地取得	2億3095万円	2億3095万円
駐車場	5656万円	4837万円
農業集落排水	5億3982万円	5億3934万円
漁業集落排水	1億3844万円	1億3844万円
特別林野	1758万円	1685万円
合計	352億1203万円	348億9539万円

特別会計は、特定の目的を持
って事業を行う場合に、一般会
計と区別して経理するための会
計です。
平成13年度特別会計の歳入・
歳出決算は表3の通りです。

特別会計

設事業費や中部環境施設組合への
負担金の増加などにより、歳出全
体として前年度決算に比べ5億3
579万円、1.2%の増額となりま
した。
一般会計の歳入・歳出決算規模
の推移は表2の通りです。

平成13年度に実施した
主な事業

■笑顔のあるひと

*生涯学習社会の構築

生涯学習推進基本計画の策定

*学習環境の充実

白石中学校プール改築事業、鴻南中学校屋内運動場増改築事業、大内中学校給食室新築事業

*市民活動の支援

市民活動支援施設「さぼらんて」の設置

*保健、医療、福祉の充実

痴呆予防推進モデル事業、大内うえき学級の整備



平成14年2月に完成した鴻南中学校の
屋内運動場

■魅力のあるまち

*中核都市づくり

中園文化施設建設事業、中央公

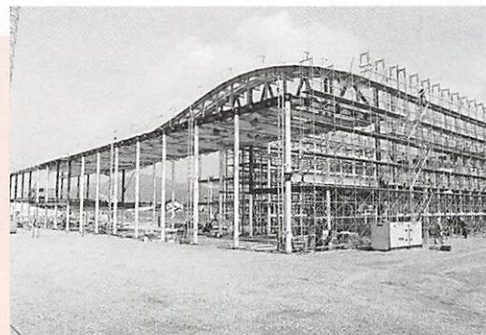
園整備事業

*彩りのあるまちづくり

山口市館運営事業（山口きらら博）、クロード・モネ展開催支援事業

*安全・快適なまちづくり

コミュニティバス運行事業、生活道や上・下水道の整備



平成13年8月から建設工事がスタート
した山口情報芸術センター

■活力のある産業

*新産業の創出

起業化支援事業
起業の振興

*産業の振興

中心商店街活性化事業、道の駅「仁保の郷」運営事業、地場産業活性化対策事業、水産業振興事業

*集客交流人口の増加

観光客誘致事業

*勤労者福祉の充実

産業基盤整備事業

財政一口メモ

「財政運営行動指針」を策定

目標は、「最高水準の市政」の実現。

市では、昨年10月に「財政運営行動指針」を策定しました。

厳しい財政状況の中、安定的な施策展開を図るためには、財政の健全化を図り、弾力的で足腰の強い財政体質を確立する必要があります。その実現に向けた財政運営の行動計画となるものです。

指針の目標は「最高水準の市政」としてあります。その実現に向けた3つの視点と、具体的な方策は次のとおりです。

■その一

自主・自立的な行政運営に向け、「安定的な財源の確保」のため効果的な施策に取り組みます。

- ・ 市税収入の確保対策の強化
- ・ 財源確保のための研究
- ・ 後年度負担を考慮した市債発行の適正化
- ・ 活力ある産業づくりの推進
- ・ 保有財産の有効活用

■その二

まちの活性化へ向け、民間活力が生き生きと発揮されるまちの実現を目指し、「官から民への構造改革」に取り組みます。

- ・ 外部委託・民間活力の導入
- ・ 利用料金制度等の導入

■その三

財源の有効活用に向け、「市民の目線に立ち、市民ニーズを反映」した諸施策に取り組みます。

- ・ 事務事業見直しの徹底
- ・ 定員管理の適正化
- ・ 公共事業コストの縮減
- ・ 事業事前調査の充実

目標達成に向けた行動の第一歩

「最高水準の市政」の実現を目指し、真の公益とは何かを見定め、将来のあるべき方向に向かって、市民のみならず、これらの具体的な方策に基づいた事業に取り組んでいきます。

生活習慣の改善で 健康な生活を

2月1日から7日は、
生活習慣病予防週間

食事、運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣の影響を受けて発症したり、進行する病気の総称を「生活習慣病」といいます。主な生活習慣病には、がん、脳卒中、心臓病など死因の上位を占めるものや、糖尿病など日常生活に大きな負担をもたらすものがあります。

生活習慣病を予防するには、食事、運動、休養などの生活習慣を見直して改善することが必要です。

バランスの取れた栄養を

バランスのよい栄養がとれるように1日30品目を食べることを目標にしましょう。そのためには、手作りの料理で同じ材料はなるべく使わないように。

適度な運動を

運動不足は肥満をまねいて生活習慣病へまっしぐらとなります。日常生活に運動を取り入れることで、生活習慣病を予防しましょう。それには、いつでもどこでもできるウォーキング（早歩き）がおすすめです。



まず歩くことから、
健康づくりを

十分な休養を

疲労は蓄積されて過労となり、体の抵抗力を弱め、生活習慣病の原因になつたりします。また、精神的ストレスが続くと、不眠や胃・十二指腸潰瘍、高血圧症、頭痛などの病気を引き起こします。

1日の疲れはその日の内に、1週間の疲労は休日にとって、心身の疲れを上手にいやすようにしましょう。

問い合わせ
市健康増進課 ☎921-2666

Q 原動機付自転車を廃棄しました。何か手続きが必要ですか。

A 3月末までに、廃車の手続きが必要で、原動機付自転車をお持ちの方は、4月1日を基準として軽自動車税が課税されます。廃車の手続きをしないと、引き続き軽自動車税の負担が必要となります。

軽自動車税の申告場所

車種	場所
原動機付自転車 ～125cc以下	山口市役所 課税課 TEL934-2734
小型特殊自動車 (農耕用等)	仁保出張所 大内出張所 陶 出張所 錦銭司出張所 名田島出張所 秋穂二島出張所 嘉川出張所 佐山出張所
軽自動車 三輪・四輪 二輪の小型自動車 (125超～250cc以下)	山口県 軽自動車協会 TEL922-8877 葵一丁目5-58
二輪の小型自動車 (250ccを超えるもの)	中国陸運局 山口陸運支局 TEL922-5334 宝町1-8

◇問い合わせ 市課税課
(☎934-2734)



原動機付自転車 (原付)の手続き



廃車に必要なものは、所有者の印鑑、ナンバープレート、車台番号およびナンバーが記載されている書類(標識交付証明書、自賠責保険証など)です。

※申告窓口は左表のとおりです。



老人医療受給者の 自己負担割合

Q 老人医療受給者の自己負担割合を教えてください。

A 老人医療は、1割もしくは2割の自己負担が必要です。負担割合は、同一世帯で70歳以上の人の所得状況および世帯構成で決まります。

負担割合2割の人 住民税の課税所得金額(収入金額から必要経費および各種控除額を差し引いた金額)が124万円以上の

人を一定以上所得者と判定し、同一世帯の老人医療受給者は2割負担となります。

負担割合1割の人 同一世帯に一定以上所得者がいない場合は、1割負担となります。

課税所得で2割負担とされた人でも、同一世帯で70歳以上の人の収入金額の合計が一定額に満たない場合は、申請されると1割負担になります。

※一定額 同一世帯に70歳以上の人が2人以上いる場合 637万円/1人のみの場合 450万円

◇問い合わせ 市保険年金課
(☎934-2803)

山口市史「史料編」編さん事業

山口市史「史料編」編さん事業は、第五次山口市総合計画において魅力ある個性的なまちづくりを進めていくため、個性戦略のひとつとして位置づけられています。長い歴史の中で培われた山口の個性・地域の個性を理解するとともに、歴史環境の保全を図っていくことを目的とした歴史研究啓発事業として、平成14年度からはじまりました。

問い合わせ 広報広聴課市史編さん室 ☎934-2784

山口市史編さん事業のあゆみ

山口市では、戦前に発行された市史を含めて、これまで5冊の市史を発行しています。しかしながら、市史の記述を補完し、その裏付けとなるべき「史料編」の編さんについては、計画されたことはありませんが、実現には至りませんでした。



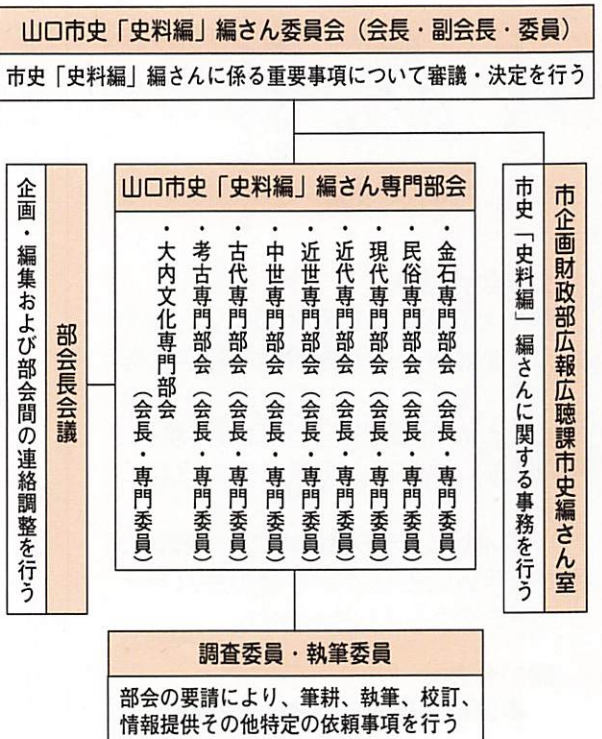
写真左から『昭和八年版山口市史』昭和8年12月発行／『山口市史 通史篇』昭和30年10月発行／『山口市史 地区篇』昭和36年3月発行／『山口市史 各説篇』昭和46年3月発行／『山口市史』昭和57年12月発行

大内文化を重視

市史「史料編」編さん事業は、山口市域を主たる対象とし、原始

【図1】

山口市史「史料編」編さん事業の推進体制



地名の由来などについて、地元の方からの聞き取り調査 (民俗専門部会)

から現代まで時代分野ごとに専門部会を設け、多彩な歴史に関する史料を可能な限り多く調査、収集し、採録することを目指して行っています。また、中世室町時代に山口に本拠を置いた大内氏関連の貴重な資料、文献等の収集を進めるため、大内文化専門部会を設

けたことが大きな特徴です。

編さん事業の期間は、本年度から平成23年度までのおおむね10年間で、この間に総巻数9巻を限度とした史料編を発行していきます。各巻の構成は、「大内文化」「考古・古代」「中世」「近世1・2」「近代」「現代」「民俗・金石」となる予定です。

9つの専門部会

編さん事業の推進体制【図1】は、事業に関する重要事項を審議決定する編さん委員会(会長・山口市史「史料編」編さんに関する事務を行う)の要請により、筆耕、執筆、校訂、情報提供その他特定の依頼事項を行う

※民俗…年中行事や地名の由来など
金石…石碑などに刻まれた銘文

市史史料編が目指すもの

山口市史「史料編」編さん委員会
副会長 八木 充 (山口大学名誉教授)



現在時代は動き、世界は大きく変わりつつあります。政治や経済、国際や社会など、さまざまな分野で既存の枠組みが改革を迫られている現状です。こうした転換期に、過去の歴史を検証し、現代を分析する必然性は、誰もがひとしく認めるところでありましょう。市民一人ひとりとは、とりわけ地域社会の中で予測しがたい変動と切実に向き合わざるをえません。地域の歴史がかえりみられようとする理由の一つは、かかる時代的要請の変化に対応するためといえましょう。

山口市は、戦後二度にわたって市史通史編を公刊してきました。ただとても残念なことに、どちらも通史立論の根拠となる史料の提示は十分でなく、まして史料の広範な開示の場となる史料編の刊行は見送られていました。

史料そのものからはじまる歴史理解は、通史の記述内容を点検し、史実を確定しなおせるだけでなく、あらたな歴史の見方・解釈の原動力となりうるものです。瑠璃光寺の五重塔や保存修理で完成間近い県会議事堂は、直接大内文化や大正デモクラシーのランドマーク（出来事を示す証拠物）であります。残存する文字史料をはじめ、考古資料・民俗資料・有形文化財なども、一点一点が特定の出来事をきっかけに生み出された貴重な“ランドマーク”にたとえてよいでしょう。各種のランドマークである史資料を調査、収集、さらに集成し、その保存と利用をつうじて、各人は過去の時代や社会を、じかに学習し再構成する機会をもつことができます。そのうえ、地域特有の土地柄や伝統や気質の成り立ちの核心を見極めていくことも可能となりましょう。そうした歴史的な営みは、新しい世紀の現代を模索し、地域社会の将来を展望する豊かな糧となるにちがひありません。

史資料は一見やや取っ付きにくいかもしれませんが、注釈・解説をつけ、原文の漢文に読み下し文をそえるなど、親しみ活用しやすい工夫をほどこそうと考えています。山口市域の個性的な歴史や文化の発展をとともに理解し、成果を共有しあえる幅広い文化運動に高まることになれば、関係者のひとりとして望外の喜びであります。史資料の所在や調査をはじめ、今次の編さん事業に、好意ある協力・参加を期待してやみません。

び部会間の連絡調整を行う部会長会議、事務局である広報広聴課市史編さん室から構成されています。

身近な市史を目指して

編さん事業の中味を少しでも身近に感じていただけるよう、活動の状況を広くお知らせし、多くの方々と情報のやりとりができるように、来年度より『山口市史編さんだより（仮称）』を年2回発行する予定です。

また、編さん事業のねらいや専門分野の調査成果等について、編

さん委員をはじめとする関係者による講演会も計画しており、身近な市史を目指します。

史資料に関する情報を教えてください！

編さん事業では、これまで目にもあまり触れる機会がなかった山口の歴史に関する史資料の調査を積極的に行いたいと考えております。史資料は歴史家が語りかけて始めて歴史になるとも言われます。皆さんのお宅で大切に保管されている古い史資料を拝見させていただけるようでしたら、ぜひ、ご連絡



市民の方から連絡を受け、ご自宅に保管されてきた貴重な史資料を調査（近世専門部会）

絡ください。

【連絡先】広報広聴課市史編さん室
☎ 934-2784
FAX 934-2672
Eメール koho@city.yamaguchi.yamaguchi.jp

編さん事業を行うことにより、地域の歴史に関する史資料が飛躍的に増加するだけではなく、先人たちの足跡を学び、将来進むべき道を考えるための貴重な財産を次の世代に引き継いでいくことが可能となります。

編さん事業は、市民の皆さんをはじめとする多くの方々のご理解とご協力によって進めていくことが出来るものです。どうか本事業に対するご理解とご協力をお願いいたします。

山口情報芸術センター・11月1日オープン 愛称は「ビッグウェーブやまぐち」

11月1日にオープンする山口情報芸術センター。市民の皆さんから募集していた同センターの愛称が「ビッグウェーブやまぐち」に決定しました。また、市民参加による事業展開を進めていくため、山口情報芸術センター企画運営会議の開催と併せ、市民委員会委員の募集を行っていきます。



市報やホームページを通して、市民の皆さんから募集した山口情報芸術センターの愛称は、応募総数324点の中から、うねるような屋根の形状とセンターを中心として発信される「やまぐち」の情報・芸術・文化が全世界を揺り動かすまでになってほしいとの願いを込めてつけられた「ビッグウェーブやまぐち」に決定しました。名付け親は、井上伸子さん（東山一丁目）、山本清治さん（宮野下）の2名で、4月16日開催の竣工式において表彰状と副賞が手渡されます。

自主企画事業の立案、実施 市民委員会委員を募集

市民委員会は、①自主企画事業の立案、制作・実施、②公募事業の選考と実施、③山口情報芸術センターで開催される事業へのサポート、④各種情報発信および情報収集等を行っていきます。委員会は、15人で構成され、そのうち10人を公募します。なお、基本的にボランティアとして活動していただくこととなります。

また、市民委員会の代表者2名は、「企画運営会議」に参加し、市民からの意見、企画案等を提案していきます。

◇応募資格および条件 年齢が18

歳以上の人／市内および周辺市町村在住の人／年間を通して継続的に活動が可能な人（10人以上）
※任期は、平成17年3月31日までの2年間

◇応募方法 2月1日（土）から

20日（木）までに、テーマ「私」が山口情報芸術センターでやってみたいこと」について800字程度の文章にまとめ、〒住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、郵送、ファクス、Eメール、持参のいずれかで市文化振興課内財団法人山口市文化振興財団事務局（〒753-8650 亀山町2-1-1 ☎934-2869 934-2670Eメール koubo@ycam.jp）へ

※企画運営会議

企画運営会議は、山口情報芸術センターの事業計画、運営、事業評価等の方針や方向性などについて、幅広い視点から議論していただく機関です。教育機関の関係者、文化・芸術に関する有識者、市民委員会委員など15人で構成されています。

12月26日に開催された第1回会議では、プレイベントや開館後の事業計画等の確認、愛称の選考などが行われました。

センターの波をいち早く体感 プレイベント満載

■山口アートマネジメント隊活
動報告会

一昨年から行ってきた市民約30人とアーティストとの共同企画運営事業の報告会を開催します。

◇日時 2月9日
(日) 午前11時
～午後5時30分



◇場所 市民会館小ホール(中央二丁目5-1)

■ダンスワークショップ

形式にとらわれないことなく、日常のさ細な仕草をダンス表現に取り入れた斬新な振り付けで注目を浴びる若手振付家・井手茂太氏によるワークショップを開催します。

◇日程 3月22日(土)～23日(日)

◇場所 サンフレッシユ山口(湯田温泉五丁目5-22)

■「トリアル・ラン」制作・発表

市民が制作・表現の主体となつて、新しい表現スタイルでの舞台公演を企画・制作し、発表するプロジェクトです。

◇制作期間 4月1日(火)～10

日(木) ※発表は4月11日(金)

市民会館小ホール

移動
図書館車

プレイベント! 市立図書館探検ツアー 参加者募集

山口市立図書館では、今後どのような形で、ボランティアに参加してもらえるか検討しているところです。

今回訪れる直方市立図書館では、10代から70代までの約300人のボランティアが、行事の開催や窓口サービスなどを通して、職員とともに図書館を盛り上げています。みなさんも実際に、市立図書館のサービスとは、ボランティアとはどういうものか直接見て、話を聞いてみませんか。

◇期日 2月21日(金)

◇訪問先 直方市立図書館(福岡県)

◇集合時間・場所 午前9時に市民会館小ホール前

◇対象 市民25人(応募者多数の場合抽選)

◇参加費 1000円(実費として当日徴収)

◇持参品 筆記用具

◇申し込み 2月10日(月・消印有効)までに1人または2人1組をハガキ、ファクスまたはEメール(〒住所、氏名、年齢、電話番号を記入)で市生涯学習課図書館開館準備室へ

アイデアもらって「ぶっくん」決定!

山口情報芸術センターの中のできる山口市立図書館。ただ今、みなさんの意見やアイデアを取り入れながら、開館準備を進めています。プレイベントやホームページ上で受け付ける本のリクエストなど、みなさんの参加を待っています。

ホームページアドレス <http://www.ycam.jp>

移動図書館車の愛称は「ぶっくん」に決定



移動図書館車の愛称を募集したところ、150件の応募があり、選考の結果、下泰さん(大内矢田)と杉山光治さん(大内長野)の「ぶっくん」に決定しました。

移動図書館車とは、本棚を備えた車で、市内を定期的に巡回し、本の貸し出しサービスを行う「動く図書館」です。開館までは、各地区を、開館してからは主に市立図書館から遠いところを巡回します。

山口市立図書館今後の予定

●移動図書館車の愛称と同時に募集したサービス・ステーション(駐車場所)も7件の要望がありました。これから各地区のバランスや巡回行程等を考え、場所を選定していきます。

3月に車両が完成するので、実際に車両が回ることができるか、貸出システムが順調に稼働するかなどを確認しながら、4月頃に場所を確定します。巡回表の配布、

広報をした後、開館前の6月下旬の運行開始を目指しています。

●市立図書館の開館時間や休館日等については「山口市立図書館準備協議会」で現在協議しているところです。決まり次第みなさんにお知らせしていきます。この協議会は、専門家や公募した市民の方から構成されており、利用しやすい図書館を目指して進めています。



ガールスカウト がくれたもの

おくはらゆうこ 奥原由子 さん

—平成14年度善行青少年及び
青少年健全育成成功労者内閣官房長官表彰者—

奥原さんが差し出した一枚の写真。笑顔が似合う彼女は写真の中でもにっこりと、その隣に写っている人は、みなさんもよくご存じの人です。その人は福田内閣官房長官。じつは奥原さん、善行を行った青少年に与えられる平成14年度内閣官房長官表彰受賞者なのです。

■ガールスカウトがくれたもの

奥原さんは小学校1年生の時、ガールスカウトに入団しました。そして平成10年以来、中心的な若手リーダーとして、社会貢献活動を含むさまざまな行事で活躍。その活動が青少年の健全育成に貢献しているとして、昨年の11月に受賞が決まりました。

「ガールスカウトがくれたものは、この賞だけじゃないですよ。学校では得られない貴重な体験や仲間たち。そして、誰とでも気軽に話せる性格を私に手に入れました！」と奥原さん。表彰式の時も緊張せず、他の受賞者たちとすぐ打ち解けたと言われるんですから納得できます。

■活動の中から学ぶ自分の役割

18歳の時には、ガールスカウトの若手リーダーの会を結成し、キャンプの企画など、若いパワーと勢いで自主的な



平成14年度善行青少年及び青少年健全育成成功労者内閣官房長官表彰を受けた（全国で12名、9団体が選ばれる）うちの一人。11月25日には総理大臣官邸で行われた表彰式に出席。山大農学部獣医学科の6年生

活動を展開。また、3年前には、*ピースバックを持って、アフガン難民の子どもたちを訪れるなど、海外においても、さまざまな体験を重ねてきています。

「もう、ガールスカウトは経験の宝庫です。そして、年代の違った人たちと経験を共有します。私は、年代が違っても、自分はどう行動すべきかを学びました。年上を敬い、年下の面倒を見る。自分の役割は何か、自然に考えられるようになりました」と話します。

■できる範囲で恩返し

楽しいことが大好きだという奥原さん。小さい頃は、「どうやったら楽しくなるだろう…」と日々考え、イタズラが絶えなかったと言います。

「そうすると、リーダーから叱られるんですよ。でも、他人から叱られるのって、大切な体験ですよ。私はまだうまく叱ることはできません。それに、子どもの気持ちをつかむのってすごく大変なんです。これから仕事を持つようになれば、自分のできる範囲はますます限られてしまうかもしれないけど、今まで育ててもらった、その恩返しをこれからしていければいいですね」と話してくれました。

*ピースバック：学用品やおもちゃなどが詰まったプレゼント。これを現地に行って、難民の子どもたちに配るガールスカウトの活動

山口のんた情報 (山口ケーブルテレビ)

午前7時50分(月・木・日)、午後零時20分(水・土)、午後6時25分(火・金)、午後10時30分(月・木・日)から20分間放送。

- 1日～15日 「ものづくりの心を大切に」
- 16日～28日 「学校で始まる新たな取り組み」

山口のんた情報特別版再放送

毎日午前7時から30分間

- 3日～16日 『「活力あふれる県都山口」へ向け・21世紀のまちづくり市町村合併』

ご覧ください
山口市の
広報番組

2月の放送
予定です

わたしたちのまち山口 (テレビ山口)

毎週日曜日、午前11時40分から4分間放送。

- 2日・9日 「毎日の用心で住まいの防火を」
やまぐちしま専科 (山口朝日放送)
- 毎週水曜日、午後1時55分から4分間放送。
- 5日 「お年寄りも安全 交通マップ」
- 12日 「鑄銭司郷土館」
- 19日 「栗林和彦の山口 いま-むかし」
- 26日 「読み聞かせボランティア
たんぼぼの会」



山口市リサイクルプラザ

☎ 927-7122 ☎ 927-7133

http://www.c-able.ne.jp/ymgplaza/
開館時間 午前9時から午後5時
資源ごみの受け付け

午前9時から午後4時30分
月曜と祝休日の翌日はお休みです

出発前のチェック!

地球にやさしい スマートドライブ

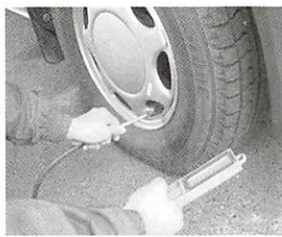


私たちが毎日、通勤、買い物などに利用している自動車は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を大気中に排出しています。目的地が近ければ、歩いたり、自転車などを利用するのが一番よいのですが、どうしても自動車を利用しなければならないあなたに、地球にやさしいドライブテクニックを紹介します。今号は、出発前の確認事項です。地球温暖化防止、燃費節減に取り組んでみませんか。

トランクなどの余分な荷物は降ろしましょう

運ぶ必要のない荷物を積んだままにしておくとか加速性能を低下させるだけでなく、燃費を悪くすることになります。例えば、いつもは使わないゴルフバッグやキャリーなどは車から降ろしておきましょう。ゴルフバック1個(約10キロ)の荷物を降ろすと、1年間で約2・5リットルのガソリンが節約でき、263円得になります。(左下表参照)

タイヤの空気圧が適当かどうか確かめましょう



つい忘れがちなのがタイヤの空気圧チェック。意外に燃費に大きく影響するほか、安全面でもチェックは大切です。タイヤ

の適正な空気圧は、運転席のドアの内側や車の取扱説明書に書かれています。この値はタイヤが冷えた状態の数値です。空気圧は、なるべくタイヤが冷えた状態の時に調整しましょう。空気圧が適正値より0・5キログラム/平方センチ減ったタイヤを適正な空気圧に調整すると、1年で23リットルのガソリンが節約でき、2415円得になります。

出発前の車の暖機運転は適切にしましょう

現在の自動車では、性能的に長時間の暖機運転は必要ありません。なるべく短めにしましょう。買い物のために車で出かけ、帰ってきてしばらくしてからまた別の買い物のために車を使うということを繰り返すと、冷えた状態から走り出すことになり燃費が悪くなります。車を使う用事は、まとめて済ませましょう。1日1回(4分間)の暖機運転をやめると、1年間で21リットルもガソリンが節約でき、2205円得になります。

車の相乗りなどを行い、道路を走る車の数を減らそう

また、仲間や職場での車の相乗り、

■燃費の節約効果

出発前のポイント	1年間の節約量(L)	二酸化炭素換算(Kg・CO ₂ /L)	ガソリン代節約分
余分な荷物を降ろすと	2.5	6	263円
タイヤの空気圧を適正にすると	23.0	54	2,415円
暖機運転をやめると	21.0	50	2,205円

※2000ccの乗用車(A T車・平均燃料12km/L)が、年間10,000km(高速道路の場合は、年間1,000km)は走行した場合の実測値を前提として算出されています。(1L=10円)

公共交通機関の利用などを行うと、走行する車の数を減らすことになり、地球温暖化防止と燃費節減に、より大きな効果が得られます。次回は、走行中と停車時についてです。(企画 やまぐちエコ倶楽部)

※参考資料 (財)省エネルギーセンター「Let's スマートドライブ」

■2月のリサイクルアイデア講座(午前10時~正午)
《いつでも参加できます。申し込みはいりません》

モラの手法を使った小物づくり	4(火)	牛乳パックでおひなさま作り	8(土) 22(土)
和服のリフォーム	4(火) 18(火)	余り布でつくるコサージュ	14(金)
パッチワーク(初級)	5(水) 15(土)	毛糸のリサイクル	14(金) 28(金)
トールペインティング	5(水) 19(水)	パッチワーク(中級)	19(水) 26(水)
押し花でネコのミニ額作り	6(木)	※パッチワーク(中級)、トールペインティングは、午前9時30分~正午	
さき織り	6(木) 13(木) 20(木) 27(木)	※パッチワーク(初級) 15日(土) 午後1時~3時	
洋服のリフォーム	6(木) 13(木) 20(木) 27(木)	※トールペインティング、布遊び、牛乳パックは、季節講座で「おひなさま作り」になります。	
ネクタイでベスト、小物作り	7(金) 21(金)		
布遊び	8(土) 22(土)		

※持参するものなど詳細は、リサイクルプラザ、市役所、公民館にある「かわらばん」をご覧ください。

■2月のおもちゃの病院

◇日時 2月9日(日)(受付は午前10時~11時30分)

※2月のフリーマーケットはお休みです。

※3月のフリーマーケットは、3月9日(日)。出店の申し込みは、2月15日(土)からリサイクルプラザで受け付けます。出店共益費(300円)



お知らせ

固定資産縦覧帳簿の縦覧

◇期間 4月1日(火)～30日(水) 午前8時30分～午後5時15分(土・日・祝日は除く)

◇縦覧できる人 本人または同居の親族、納税管理人、本人から委任を受けた人(委任状が必要)
◇持参品 運転免許証等本人と確認できるものまたは印鑑

※法人の固定資産縦覧帳簿を縦覧される人は、社印を押印した委任状と、縦覧される人の運転免許証等本人と確認できるものまたは印鑑が必要です。

◇場所・問い合わせ 市課税課(市役所1階 ☎934-2736・2737)

確定申告はお早めに

源泉徴収された所得税の還付申告は受付を始めています。毎年、期間間近になると相談会場は大変混雑しますので、お早めに申告を済ませましょう。

なお、確定申告会場は3月17日(月)まで(土・日・祝日を除く)

中市コミュニティホールNac2階となりますので、お間違えのないようお願いいたします。

◇確定申告(納付) 期限

・所得税 3月17日(月)

・個人事業者の消費税および地方消費税 3月31日(月)

・贈与税 3月17日(月)

※税務署の閉庁日(土・日・祝日等)は、相談および申告書の受付は行っておりませんが、申告書は郵送または税務署の時間外収受箱に投函することにより提出することができます。

◇問い合わせ 山口税務署(☎922-1340)または山口税務相談室(☎922-2774)へ



職業、女優。

学校臨時・パートタイム職員の登録募集

市では、平成15年度採用の学校臨時・パートタイム職員を希望される人に前もって登録していただき、必要に応じて雇用します。

◇職種 小・中学校補助教員(資格 各教員免許状)

市民無料法律相談

◇日時 2月12日(水) 午後1時30分から(受付は午後1時～1時30分)

◇場所 山口南総合センター(名田島1218-1)

◇相談内容 日常生活での法律

◇期間 平成15年4月～平成16年3月まで

◇受付期間 2月10日(月)～28日(金) ※土・日・祝日を除く

◇登録方法 履歴書(市販または学校教育課備え付けのもの)に自筆で必要事項を記入の上、写真を貼付し、本人が直接学校教育課へ持参してください。

◇問い合わせ 市学校教育課(☎934-2863)

青少年育成者フォーラム

◇日時 2月8日(土) 午後1時30分から

◇場所 山口南総合センター(名田島1218-1)

◇内容 アトラクション すえ陶来楽夢わーるど「陶の踊り子隊」/講演 二島地区「サタデープラン」コミュニティクラブの活動について(講師 二

の問題に関すること

◇定員 24人(先着順)

◇相談員 弁護士

◇問い合わせ 市地域生活課(☎934-2886)

※詳しい書類(登記、契約書等)があればお持ちください。

※予約制ではありません。

島地区サタデープラン推進協議会会長 二井清夫氏/大殿・宮野・平川・佐山地区事例発表
◇参加費 無料
◇問い合わせ 市生涯学習課(☎934-2866)

国際サロン「なるほど! 納得! スペイン講座」

スペインのパンプローナ市は姉妹都市です。スペインの歴史や文化、会話を学んでみませんか。

◇日時 2月19日(水) 26日(水) 午後6時30分～8時30分

◇場所 サンフレッシュュ山口(湯田温泉五丁目5-22)

◇講師 マリア ロレンソ氏(原国際交流員)

◇参加費 1回500円(茶菓子付)

◇定員 40人(応募者多数の場合抽選)
◇申し込み 2月12日(水)までに 県国際交流協会(☎925-17353)へ

住宅名	戸数	所在地	構造	家賃	駐車場 使用料
赤妻	3	赤妻町9	3DK	16,100円~42,800円	1,400円
上東	1	吉敷3014	3DK	18,500円~40,700円	1,400円
宮野下	3	宮野下1366-2	3DK	13,900円~30,500円	1,200円
平井	1	平井309-2	3DK	17,100円~37,600円	1,200円
平川	1	吉田3083	3DK	26,400円~57,900円	1,200円
平川 (單身可)	1	吉田3083	2DK	17,300円~38,100円	1,200円

◆申込資格（次の要件すべてに該当する人）

・自ら居住するために住宅を必要とする人で、現に同居し、または同居しようとする親族（内縁関係にある人および婚約者を含む）があること

・法令で定める収入基準に該当していること（省令月収で、20万円以下。高齢者・障害者等の世帯は26万8000円以下）

◆入居時期 4月中旬予定

◆受付期間 2月20日（木）～

3月5日（水）午前8時30分～午後5時（土・日を除く）

◆受付場所・問い合わせ 山口

土木建築事務所（神田町6-10）
☎922-1273

平成15年度 財団主催・共催事業ラインナップ

二兎社 永井愛作・演出作品
「萩家の三姉妹」

11月中旬

主演は渡辺えり子。人気脚本家、大石静・永井愛が81年に立ち上げた劇団二兎社。チェーホフの「三人姉妹」をモチーフに現代の日本社会にある男女の役割の問題をコミカルに描いた作品で、県内では同劇団初公演の舞台です。

谷村新司コンサート
LA STRADA VI

4月27日（日）

谷村新司の山口市民会館での初公演。先日、全国ツアーを一旦休業すると発表し、再開時期が明らかでないだけに貴重なコンサートとなることでしょう。



「エニー」は、(財)山口市文化振興財団が主催（指定）する催し物に、より楽しく参加してもらうために組織された友の会です。文化情報をいち早くお知らせし、有利に参加できる特典をご用意。また、若い人にも気軽に公演に参加してもらおうと、平成15年度から学生会員を新設します。みなさん「エニー」に入会しませんか。

特典あるよ！エニー会員

- ・チケットの優先購入、割引、無料郵送
- ・情報誌等の無料郵送
- ・チケット代金のカード支払い（ACEカード利用者のみ）
- ・協賛店（OK無線、好花園）での商品の割引購入（団体会員を除く）

その他のラインナップ

- 4月4日（金）ヴィオール・デュオ 魅惑のヴィオラ・ダ・ガンバ 二重奏
- 10月28日（火）中原中也&ジャン＝ギアン・ケラス スーパーシアターコンサート
- 12月初旬ウラジミール・ミシユク ピアノリサイタル
- 12月14日（日）扉座「無邪鬼」横内謙介 作・演出
- 平成16年2月ラ・フォンテーヌ（古楽アンサンブル）
- 平成16年2月東京ヴォードヴィルショー

※その他幅広いジャンルの公演を予定しています。

◆申し込み・問い合わせ

(財)山口市文化振興財団
〒753-0074中央二丁目6-19
金子ビル2階
(☎933-0505)

トロカデロ・デ・モンテカルロ
バレエ団 Japan Tour 2003

6月20日（金）



クラシックバレエをパロディ化し、一躍超売れっ子となったバレエ団が再来日！華麗なる彼女達の美しくも笑えるバレエをお楽しみください。

バーデン市立劇場オペレッタ
“こうもり”

9月28日（日）

270年の歴史を持つバーデン市立劇場。生のオーケストラ演奏で楽しめる本格的オペレッタです。字幕、漫画での解説書付きで、初めての方も気軽に楽しめます。

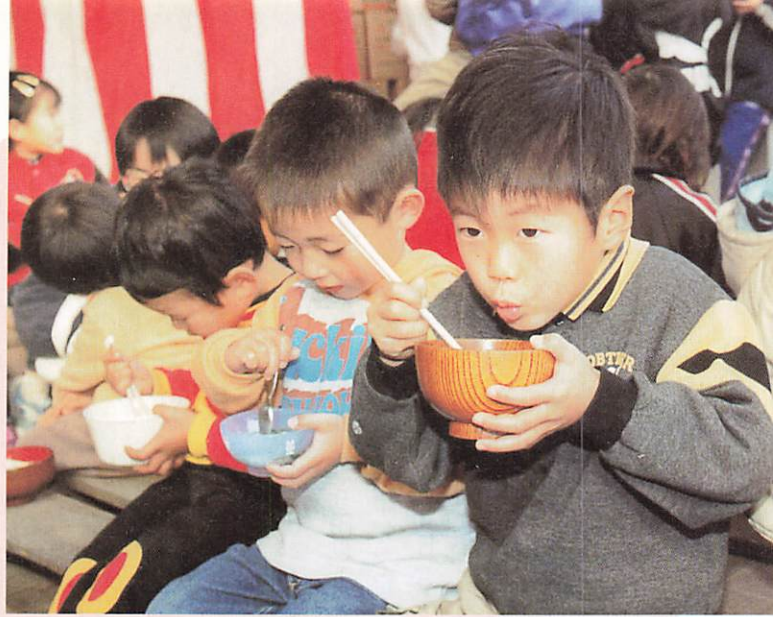


カメラさんぽ



気持ちを新たに書きました

小学生のかきぞめ大会が市児童文化センターで行われ、26名が参加しました。子どもたちはお手本を見ながら、「ひつじ」や「はるの光」などの課題を一生懸命書いていました。(1月5日)



ふうふう 七草がゆあったかいね

名田島の農協新倉庫で名田島婦人会手づくりの七草がゆがふるまわれました。この日は、他にどんど焼きや餅つきが行われ、集まった約80人の子どもたちは冷えた体をみんなで温めました。(1月13日)



風を切って、ゴール!!

山口南総合センターをスタート・ゴールに第54回山口市駅伝競走大会が開催されました。冬空のもと62チームが、7区間に渡りたすきをつなぎ、西京高校が一位でゴールしました。(1月19日)



今年も気を引き締めて!

今年も山口南総合センターで消防出初め式が行われ、市内16地区の消防団や消防署員などが観閲行進、一斉放水などを行いました。(1月12日)

今日は大人の第1歩です

新成人の集いが市民会館で行われ、約1200名が集まりました。新成人たちは久しぶりの再会を喜び合っていました。また、「二十歳の意見」では、小鯖地区の伊藤学さんが「可能性に挑戦したい」と力強く抱負を述べました。(1月13日)



■人のうごき

上段は平成15年1月1日現在、
下段は平成14年1月1日との比較

